

コース17 ^{よねやま} 米山（柿崎下牧コース）

リーダー CL M/K
SL E/S T/H
実施日 令和元年6月1日（土）
天候 曇り
グレード B上
参加者 29人（男性10 女性19）
コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	定刻通り出発
米山 SA	7:20	7:35	休憩
柿崎 IC	7:45		
柿崎下牧ベース 993	8:00	8:25	登山の準備と体操。
山頂 993m 1, 2班	10:40		標準時間より 20 分早く到着
山頂 3班楽々隊	11:00		標準時間で登る
下山開始		12:10	1, 2 班: 1 時間 50 分、3 班: 2 時間 30 分
柿崎下牧ベース 993	15:00		コンビニ立寄り
秋葉区役所前	17:30		予定より 1 時間早く到着

山行等概要（幹事のコメント）

- 元号が令和になり新天皇を祝うがごとく晴れが続き過ぎ、各地で猛暑になる。まだ5月だと言うのに「夏が来た」。6月1日はどうなるのか？お陰様で気温は平年並みに戻って一安心、今度は雨雲が来た。「天気野郎、俺をおちょくっているな！」「早く通り過ぎて行って下さい」と空を見あげて拝む。その甲斐あって朝から上天気。
- 区役所発6時なのに、15分前に全員集合完了。バスが来ない。（昨日、確認の電話を入れたのに、。。。出発前から心の臓が痛む）・ドライバーの下調べが暁を成し、予定より1時間速く下牧ベース993に到着。（旧小学校の跡地）
- T/H サブの指導で準備体操。
- このコースの特徴は信仰の山の為、石仏が多く鎮座し手を合わせる回数が増す。登山道は土堀化しV字状。この形になる以前は尾根道であったが、長年の雨水と人が登って削られた為、こうなったのだろう。



山頂 993m 日本三大薬師の米山薬師堂前にて

- 1 班班長 K/H さん(カメラマン兼務) 軽快なリードで T/H サブと全員を引っ張る。2 班班長 M/S さんも堅実な歩きで快調なペース。3 班班長 S/K さんベテランぶり発揮し腰痛にも拘わらず楽々隊をアヤしながら健闘する。後は E/S サブにお任せ、自分のペースで登れず、さぞや、切なかつただろう。(すみませんでした。) 1 番だらしのない者は、統括リーダーの私でありました。「深く反省。」「生まれも育ちも三条です」も地に落ちた。) トホホ!?! 涙も出ません。後期高齢者の仲間に入り、やる事なす事、失敗だらけ。一生懸命やっても、この程度。参加者の皆さまに、大変ご迷惑をおかけしました。



三十三観音

- 想定外で驚いた事: 1 班・2 班は標準時間, 2 時間 30 分のところ 2 時間 10 分余裕をもって登頂する。(田中陽希さん見たい) 3 班 (楽々し隊) は、遅くなったと言ひ共も標準時間であり、自分たちを褒めてあげたいです。
- 下りは粘土質の為、滑って、神経を使いましたが怪我・事故無く、全員無事帰る事が出来ホットしました。「M/K の山行はもう参加しません」と言わずに又遊んで下さい。 合掌



頂上近くのクサリ場



ツクバネウツギ



白のイワカガミ



タニウツギ



ヤマツツジ



下牧登山口案内板



下牧ベース 9 9 3



登山準備中



準備体操



いざ！1班から出発



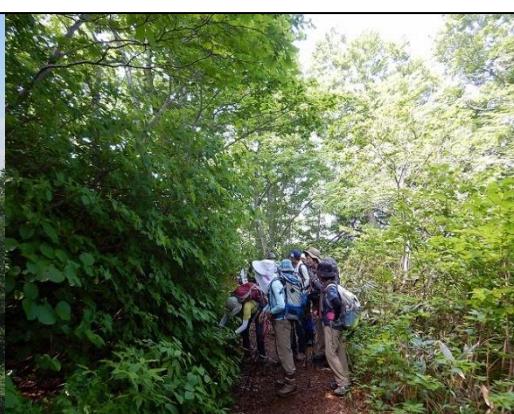
まだまだ序の口

帽子好きな石佛さん

軽快な歩きの1班長



水野口出合より妙高山方面



何か発見!!



登り出してから1時間。駒の小屋



まだまだ大丈夫ヨ!!



ツクバネウツギ



白のイワカガミ



三十三観音



水野林道口との出会い



タニウツギ



ヤマツツジ



頂上まで



山頂の薬師堂



3班楽々隊、班長先頭に続々登頂



明治15年埋設された原三角点



新津ハイキングクラブの華たちの昼食風景



100名収容の山頂避難小屋 山頂標識



山頂より柿崎町と能登半島方面



北陸高速道と日本海



柏崎市方面



1班の健脚組の皆さん



2班の余力を残しての皆さん



3班の悠々楽々し隊の皆さん



お待ちどうさま、下山開始

昔、女性はここまで、頂上には行けなかった。
女人禁制で、おんな修羅場
「しらば避難小屋」



土壁、V字状の登山道。下りは結構、神経を使います

2班、もう一息、がんばれー



ノドが乾くわ！

御仮堂の階段。バスが見えた。